

市 内 遺 跡

発掘調査報告書31

令和4年度

青森市教育委員会

例 言

1. 本書は、国と県の補助金交付を受けて令和4年度に実施した市内遺跡発掘調査等事業の報告書であり、分布・試掘・確認調査等の成果を収録したものである。
2. 成果を収録した遺跡および地区は下記のとおりである。なお、新城平岡(4)遺跡、安田近野(2)遺跡は、令和3年度報告後に調査を実施した遺跡である。
 - [1] 分布調査：飛鳥地区、内真部城館群、内真部・奥内・瀬戸子地区
 - [2] 試掘・確認調査：新城平岡(4)遺跡、安田近野(2)遺跡、女鹿沢野尻遺跡、柴山(1)遺跡、後潟(1)遺跡、葛野(1)遺跡、三内沢部(3)遺跡①、雲谷山吹(1)遺跡、沢田遺跡①、近野遺跡、沢田遺跡②、東造道遺跡、月見野(5)遺跡、新城平岡(3)遺跡、内真部地区、安田(1)遺跡隣接地、夏井田(9)遺跡、中道遺跡、三内沢部(3)遺跡②
3. 本書で使用した「試掘調査」とは、埋蔵文化財の有無を確認するための調査(未登録地の調査)、「確認調査」とは周知の埋蔵文化財包蔵地の内容等を把握するための部分的な調査を示す。
4. 本書の作成および編集は青森市教育委員会が行った。
5. 挿図の縮尺は各図にスケールを付した。なお、写真図版の縮尺は統一していない。
6. 図版番号および表番号ならびに写真番号は、「第○図」、「第○表」、「写真○」とし、順番に通し番号を付した。
7. 出土遺物及び原図・データ等は、一括して青森市教育委員会が保管している。
8. 第三章第1節に報告した内真部城館群の分布調査については、五所川原市市浦総合支所主幹兼地域振興係長 榎原滋高氏よりご指導をいただいた。また、次の各位からご協力を賜った。記して感謝を表す次第である(敬称略・順不同)。

田中 洋一、村田 健一、奥谷 誠一、鈴木 和子、岩田 安之、最上 法聖、前田 武一

目 次

例言

目次

第Ⅰ章 事業実施の概要

第1節 調査要項・・・ 1

第2節 事業照会の概要・・・ 1

第Ⅱ章 埋蔵文化財包蔵地の登録等

第1節 新規登録・範囲変更遺跡・・・ 14

第Ⅲ章 分布調査及び試掘・確認調査

第1節 分布調査・・・ 16

第2節 試掘・確認調査

1. 新城平岡(4)遺跡・・・ 21

2. 安田近野(2)遺跡・・・ 21

3. 女鹿沢野尻遺跡・・・ 21

4. 栄山(1)遺跡・・・ 21

5. 後潟(1)遺跡・・・ 21

6. 葛野(1)遺跡・・・ 22

7. 三内沢部(3)遺跡①・・・ 22

8. 雲谷山吹(1)遺跡・・・ 22

9. 沢田遺跡①・・・ 22

10. 近野遺跡・・・ 23

11. 沢田遺跡②・・・ 23

12. 東造道遺跡・・・ 23

13. 月見野(5)遺跡・・・ 23

14. 新城平岡(3)遺跡・・・ 23

15. 内真部地区・・・ 24

16. 安田(1)遺跡隣接地・・・ 24

17. 夏井田(9)遺跡・・・ 24

18. 中道遺跡・・・ 24

19. 三内沢部(3)遺跡②・・・ 24

報告書抄録・・・ 46

既刊埋蔵文化財関係報告書一覧

第1章 事業実施の概要

第1節 調査要項

1. 事業目的

青森市内においては、住宅建築を主とした建設計画等の増加により、破壊・消滅の危機に瀕している遺跡が認められる。貴重な埋蔵文化財を保護し、各種開発行為との円滑な調整を図るためには、周知の埋蔵文化財包蔵地の現状把握や、今後開発が予想される地域における未発見の遺跡の新規登録など詳細な基礎資料を整備する必要がある。

以上の点を踏まえ、周知の埋蔵文化財包蔵地およびその隣接地の分布調査や開発行為に先立つ試掘・確認調査を実施するものである。なお、本事業は、国・県の補助金交付を受けている。

2. 対象地域・遺跡名

(1) 分布調査 飛鳥地区、内真部城館群、内真部・奥内・瀬戸子地区

(2) 試掘・確認調査 新城平岡 (4) 遺跡、安田近野 (2) 遺跡、女鹿沢野尻遺跡、栄山 (1) 遺跡、後潟 (1) 遺跡、葛野 (1) 遺跡、三内沢部 (3) 遺跡①、雲谷山吹 (1) 遺跡、沢田遺跡①、近野遺跡、沢田遺跡②、東造道遺跡、月見野 (5) 遺跡、新城平岡 (3) 遺跡、内真部地区、安田 (1) 遺跡隣接地、夏井田 (9) 遺跡、中道遺跡、三内沢部 (3) 遺跡②

3. 事業実施期間

令和4年4月1日～令和5年3月31日

4. 調査指導機関

文化庁文化財部文化財第二課
青森県教育庁文化財保護課

5. 調査体制

調査事務局

教育長	成田一二三 (～R4.6.2)
	工藤 裕司 (R4.6.3～)
教育部長	小野 正貴
教育次長	大久保綾子
主 幹	葛西 俊一
主 査	児玉 大成
主 査	工藤 洋樹
”	石戸谷 勉
文化財主査	木村 淳一 (調査担当)
”	設楽 政健 (調査担当)
主 事	長崎 泰幸

第2節 事業照会の概要

当委員会では、遺跡と開発事業との円滑な調整を図ることを目的として、開発に際しては予定地内の遺跡の有無を事前に照会するよう、市広報誌やホームページで呼びかけている。照会については、個人や民間事業者（以下、民間）と市関係課（以下、庁内）からのものがあり、民間については、文化遺産課窓口での直接照会のほか、メール・FAXでも受け付けている。庁内については、4月に全庁一斉照会を実施しているほか、開発計画の都度寄せられた照会に対応している。

照会の概要については、昨年度報告分以降、2021年12月～2022年11月における民間分を第1表、同時期の庁内分を第2表に示した。照会件数は、2021年度分（2021年12月1日～2022年3月31日）で計289件・353箇所（民間261件[261箇所]、庁内関係28件[92箇所]）、今年度分（4月1日から11月30日）は、計779件・1022箇所（民間721件[721箇所]、庁内関係58件[301箇所]）の照会があった。今年度分の照会件数を前年度の同時期（計818件・1137箇所、うち民間734件[734箇所]・庁内関係84件[403箇所]）と比較すると、民間・庁内ともにやや減少している。

対象地区毎の民間・庁内を合わせた照会件数は、青森地区1298箇所（94.4%）、浪岡地区77箇所（5.6%）であり、昨年度以上に青森地区の割合が多くなっている。青森地区の割合を詳細をみると、青森地区では、石江・三内・沖館・富田・新田などを含めた西地区で22.7%、次いで岡造道・合浦・小柳・八重田・佃などを含めた東地区で22.2%、旭町・大野・浪館・安田などを含めた南地区で19.8%であった。民間関係の照会目的については、売買目的を主体とした物件調査が578件（58.9%）と最も多く、次いで建設計画が288件（29.3%）であったが、物件調査については、基本的に土地売買成立後に建築計画に移行するため、実際は建築計画が大半を占めるものと考えられる。

照会に対しては、埋蔵文化財包蔵地台帳や遺跡地図を基に回答している。当課からの回答は、「遺跡に該当している」（表中回答Aと表記）、「遺跡に隣接している」（表中回答Bと表記）、「遺跡に該当していない」（表中回答Cと表記）の三種である。このうち、AまたはBと回答した事例は、民間では255件（26%）、庁内関係で55件（14%）であり、これらのうち、17件について試掘・確

No.	施設名	種別	所在地	種別・ 施設名称	建設日	完成日	完成日	完成日	工事内容
97	石野運動場	体育	下木運動公園内	体育	2022.06.26	2022.06.27	2022.06.28	第987号	工事内容
98	高野(1)運動場	体育	石七郎地区	体育	2022.06.28	2022.06.29	2022.07.01	第982号	体育工事
99	新塚子園(1)運動場	体育	新塚地区	体育	2022.06.29	2022.06.30	2022.07.01	第985号	体育工事
100	新塚子園(1)運動場	体育	新塚地区	体育	2022.06.29	2022.06.30	2022.07.01	第986号	体育工事
101	長岡運動場	体育	石七郎地区	個人	2022.07.01	2022.07.02	2022.07.03	第985号	体育工事
102	石野公園(2)運動場	体育	石七郎地区	個人	2022.07.04	2022.07.05	2022.07.06	第982号	体育工事
103	十津運動場	体育	石野公園内	体育	2022.07.07	2022.07.08	2022.07.09	第986号	工事内容
104	下木運動場	体育	石七郎地区	個人	2022.07.08	2022.07.09	2022.07.10	第969号	体育工事
105	神代(1)運動場	体育	長岡地区	体育	2022.07.09	2022.07.10	2022.07.11	第972号	工事内容
106	鹿野公園(1)運動場	体育	神代地区	体育	2022.07.09	2022.07.10	2022.07.11	第973号	工事内容
107	高野(1)運動場	体育	下木運動公園内	体育	2022.07.10	2022.07.11	2022.07.12	第971号	工事内容
108	神代運動場	体育	神代地区	体育	2022.07.10	2022.07.11	2022.07.12	第963号	工事内容
109	長岡運動場	体育	神代地区	体育	2022.07.10	2022.07.11	2022.07.12	第982号	工事内容
110	石野公園(2)運動場	体育	石七郎地区	個人	2022.07.12	2022.07.13	2022.07.14	第982号	工事内容
111	神代公園(2)運動場	体育	上笠岡地区	体育	2022.07.13	2022.07.14	2022.07.15	第972号	体育工事 （部分）
112	下木公園(1)運動場	体育	石七郎地区	個人	2022.07.16	2022.07.17	2022.07.18	第982号	工事内容
113	高野(1)運動場	体育	石七郎地区	個人	2022.07.16	2022.07.17	2022.07.18	第982号	工事内容
114	鹿野公園(1)運動場	体育	長岡地区	体育	2022.07.18	2022.07.19	2022.07.20	第985号	工事内容
115	高野公園(1)運動場	体育	長岡地区	体育	2022.07.18	2022.07.19	2022.07.20	第989号	工事内容
116	大矢公園(1)運動場	体育	石七郎地区	体育	2022.07.19	2022.07.20	2022.07.21	第989号	工事内容
117	高野(1)運動場	体育	石野公園内	体育	2022.07.20	2022.07.21	2022.07.22	第989号	体育工事
118	下木運動場	体育	石七郎地区	個人	2022.07.22	2022.07.23	2022.07.24	第986号	体育工事
119	十津運動場	体育	石七郎地区	個人	2022.07.23	2022.07.24	2022.07.25	第984号	工事内容

第Ⅱ章 埋蔵文化財包蔵地の登録等


青森市内における周知の埋蔵文化財包蔵地（以下、「遺跡」）は、令和5年1月31日現在で、昨年度より4遺跡増加し、計435遺跡（青森地区331遺跡、浪岡地区104遺跡）となった。今年度の新規登録、範囲変更遺跡の詳細は、下記のとおりである。

第1節 新規登録・範囲変更遺跡

新規登録遺跡は、飛鳥（5）遺跡、ブドヤ沢遺跡、ドウヤ沢遺跡である。いずれも分布調査の成果によるものである。


範囲変更遺跡は、葛野（1）遺跡、露草遺跡、雲谷山吹（1）遺跡、内真部（1）遺跡である。葛野（1）遺跡、雲谷山吹（1）遺跡については当委員会による試掘調査の成果によるものであり、露草遺跡については隣接地の現地確認、内真部（1）遺跡については分布調査の成果によるものである。

遺跡番号	201-450
遺跡名	飛鳥(5)遺跡
所在地	青森市大字飛鳥字塩越
種別	散布地
時代	縄文、中世
遺物	縄文土器、珠洲焼、青磁
登録年月日	令和4年11月30日(青教文第1056号)
備考	新規登録:分布調査の結果による。



第1図 飛鳥(5)遺跡範囲 (S = 1/25,000)

遺跡番号	201-451
遺跡名	ブドヤ沢遺跡
所在地	青森市大字奥内字奥内山
種別	生産遺跡
時代	不明
遺物	鉄滓
登録年月日	令和4年12月2日(青教文第1061号)
備考	新規登録:分布調査の結果による。



第2図 ブドヤ沢遺跡範囲 (S = 1/25,000)

遺跡番号	201-452
遺跡名	ドウヤ沢遺跡
所在地	青森市大字瀬戸子字瀬戸子山
種別	生産遺跡
時代	不明
遺物	鉄滓
登録年月日	令和4年12月2日(青教文第1061号)
備考	新規登録:分布調査の結果による。



第3図 ドウヤ沢遺跡範囲 (S = 1/25,000)

遺跡番号	201-217
遺跡名	葛野(1)遺跡
所在地	青森市大字大別内字長野
種別	集落跡
時代	縄文、平安
遺物	縄文土器、石器
登録年月日	令和4年6月16日(青教文第349号)
備考	範囲変更:確認調査の結果による。



第4図 葛野(1)遺跡範囲 (S = 1/25,000)

遺跡番号	201-061
遺跡名	霧草遺跡
所在地	青森市八重田3丁目
種別	散布地
時代	平安
遺物	土師器
登録年月日	令和4年6月16日(青教文第349号)
備考	範囲変更:現地確認の結果による。



第5図 霧草遺跡範囲 (S = 1/25,000)

遺跡番号	201-040
遺跡名	内真部(1)遺跡
所在地	青森市大字内真部字山下
種別	散布地
時代	縄文(前・後)、奈良、平安
遺物	土師器、鉄滓
登録年月日	令和4年12月2日(青教文第1061号)
備考	範囲変更:分布調査の結果による。



第6図 内真部(1)遺跡範囲 (S = 1/25,000)

遺跡番号	201-199
遺跡名	雲谷山吹(1)遺跡
所在地	青森市大字雲谷字山吹
種別	散布地
時代	縄文(後)
遺物	縄文土器
登録年月日	令和4年12月2日(青教文第1061号)
備考	範囲変更:確認調査の結果による。



第7図 雲谷山吹(1)遺跡範囲 (S = 1/25,000)

第三章 分布調査及び試掘・確認調査

第1節 分布調査

今年度は、市北西部の内真部城館群を中心に、飛鳥地区、内真部・奥内・瀬戸子地区の分布調査を実施した。飛鳥地区、内真部・奥内・瀬戸子地区の調査によって、3遺跡の新規登録および1遺跡の範囲変更を行った(第II章)。

1. 飛鳥地区

調査日 : 令和4年7月28日

調査概要 : 市北西部を中心に城館の踏査を実施している市民グループより、飛鳥地区において土塁とみられる高まりが存在する場所があり、当該土地所有者が珠洲焼や青磁を採集(第9図)したという情報を受け、分布調査を実施した。当該地は、津軽山地東端の丘陵地から平野部に張り出す微高地に相当し、畑と林となっている。調査の結果、畑では縄文時代中期とみられる土器片や石器を確認し、隣接する林では南側の水路に沿って東西に連なる土塁状の高まりを確認した。新たに中世の遺物は確認できなかったものの、縄文土器や土塁状の高まりを確認したことから、飛鳥(5)遺跡として新規登録した。

2. 内真部城館群

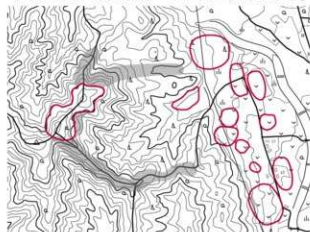
市北西部の丘陵地は、内真部館遺跡や尻八館跡などの中世城館が存在する地域であり、近年、地元を中心とする市民グループの踏査によって、周知の埋蔵文化財包蔵地(以下、周知の遺跡)の範囲外から城館遺構の広がりや、別地点では新たな城館遺構も確認されている(これらを入内真部城館群と総称)。

当委員会では、周知の遺跡範囲外において確認されている城館の範囲や遺構の広がりを把握するため、昨年度に引き続き分布調査を実施した。なお、調査については、市民グループの案内に加え、中世考古学および津軽地域の城館に精通する榊原滋高氏、青森県教育庁文化財保護課埋蔵文化財グループ職員の指導を受けながら実施した。

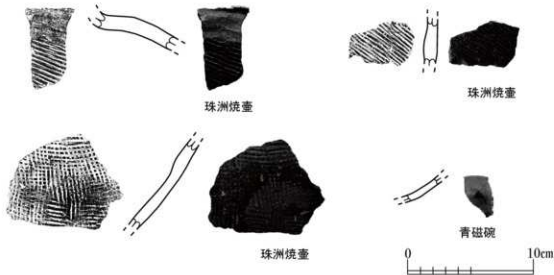
①尻八館跡付近、仮称 瀬戸子館、瀬戸子館方形区画

調査日 : 令和4年8月24日

調査概要 : 尻八館跡(青森県埋蔵文化財包蔵地台帳番号201026)の西曲輪および東曲輪(青森市2005)に連なる周知の遺跡範囲外の尾根を調査した。尻八館跡が存在する丘陵の東麓にあたる山城溜池から、西曲輪に向かう尾根上では、段状遺構や断続的にみられる壕底道を確認した。また、西曲輪東側の尾根上では、段状遺構、コの字状の壕を確認した。



第8図 尻八館跡踏査範囲 (S = 1/20,000)



第9図・写真1 飛鳥(5)遺跡採集遺物

東曲輪に連なる尾根では、土塁を確認した。

また、瀬戸子地区では、周知の遺跡範囲外にあたる奥内川南岸の丘陵地において、市民グループが発見した城館（仮称 瀬戸子館）の調査を行った。丘陵北東側の先端部には、頂部に広い平坦面が存在し、その北側から埋まりきらない竪穴建物跡とみられる浅い窪みを複数確認し、さらに、南側では環状に巡る浅い壕と切岸によって形成された環壕を確認した。また、瀬戸子館の丘陵東麓の段丘上からは、土塁と壕によって囲まれた方形区画を確認した。

②仮称 瀬戸子館

調査日 : 令和4年9月2日

調査概要 : 8月24日に踏査した仮称 瀬戸子館が存在する丘陵について、北～東側斜面の補完的な分布調査を行った。奥内川に向かって北側に張り出す細長い舌状丘陵の北東～東側の斜面において、段状遺構や小平場を確認した。

③仮称 内真部山城、大阪山館

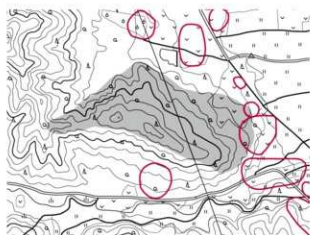
調査日 : 令和4年10月6日

調査概要 : 内真部館遺跡（青森県埋蔵文化財包蔵地台帳番号201159）西側において「内真部山城跡」と仮称（青森市 2005）されている丘陵地を踏査した。南東側の緩斜面から丘陵の尾根に向かう地点に虎口、北西側に連なる尾根から壕底道や土橋、北東から入り込む沢に面した斜面から小平場を確認した。

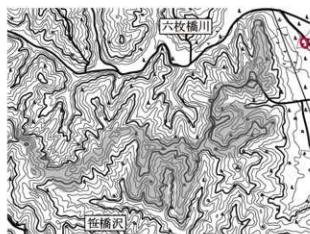
また、六枚橋地区の大阪山（標高143m）周辺において、市民グループが発見した城館（仮称 大阪山館）の調査を行った。内真部山城方面から北西側に尾根を進んだ地点において、北東側に張り出す舌状丘陵の東側斜面に小平場、その西側の尾根上には曲輪とみられる平坦面があり、北東側の沢に面した斜面から小平場を確認した。その地点から西側に尾根を進んだ場所には、土橋を挟んで二重に構築された壕底道を確認した。また、南側を流れる内真部川支流の榎橋沢に張り出す丘陵の突端部には、段状に何重にも造成した山道（九十九折）を確認した。



第10図 仮称 瀬戸子館踏査範囲 (S = 1/30,000)



第11図 仮称 内真部山城踏査範囲 (S = 1/20,000)



第12図 仮称 大阪山館踏査範囲 (S = 1/30,000)



第13図 飛鳥山館跡、方形区画踏査範囲 (S = 1/20,000)

④仮称 大阪山館

調査日 : 令和4年11月7日

調査概要 : 10月6日に到達した地点から西側および北東側に延びる尾根について調査を実施した。西側については、尾根上に1.5km以上にわたって断続的に壕底道を確認し、六枚橋川方向から入り込む沢に面した壕底道の西端に近い地点では樹形を呈

する壕を確認した。また、南側の内真部川支流の笹橋沢に尾根が連続して張り出す箇所においては、先端部の斜面から小平場を確認し、南側の沢からの侵入に対する防御を意識した構造となっていることを確認した。北東側の尾根では、頂部から曲輪とみられる平坦面を確認した。曲輪から北東側に続く尾根の先は、平坦部が続き、その先に3条の壕底道を確認した。東側から入り込む沢地形に面した斜面では、小平場群を確認した。

⑤仮称 大阪山館、内真部山城

調査日 : 令和4年11月16日

調査概要 : 仮称 大阪山館について、11月7日に北東側の尾根で確認した北曲輪北側において、六枚橋川方面に張り出す丘陵を調査した。この丘陵には、北側の六枚橋川方向から2条の沢地形が入り込んでいるが、いずれの沢に対する斜面にも複数の小平場の存在を確認した。特に東側の沢の西側斜面に小平場が顕著であり、北側の沢からの侵入に対する防御を意識した構造を確認した。また、陸奥湾を臨む東側の斜面にも複数の小平場や段状遺構を確認し、東側からの侵入にも備えた構造となっている。この丘陵頂部からは、尾根の頂部を平坦に整形したとみられる平場のほか、部分的に壕底道を確認した。

また、内真部山城の北東側斜面では、深く入り込んだ沢や急峻な地形を生かした防御構造を確認し、南東側の斜面から数箇所小平場を確認した。

⑥飛鳥山館跡付近、仮称 飛鳥山方形区画

調査日 : 令和4年11月20日

調査概要 : 飛鳥地区では、飛鳥山館跡(201-204)の範囲外において、市民グループが発見した城館を調査した。瀬戸子川に張り出す北東側の丘陵においては、切岸によって形成された曲輪とその北東側に段状遺構を確認した。また、飛鳥山頂部付近の遺跡範囲内から、環壕を確認した。また、南側の飛鳥沢から入り込む沢においては、沢を堰き止めるような土塁、沢に面した東側の斜面から、切通しを伴う壕底道、その先の丘陵において平場を確認した。

また、飛鳥山館跡東麓において、市民グループが新たに発見した方形区画を調査した。丘陵と平野部

の境界において、長方形に土塁が巡る状況を確認した。仮称瀬戸子館においては、瀬戸子八幡宮北側の東向き斜面において虎口、丘陵上からはテラス状の平場を確認した。

今年度実施した内真部城館群の分布調査によって、未登録地における城館遺構の広がりを確認した。調査は、来年度以降も行う予定である。

3. 内真部・奥内・瀬戸子地区

調査日 : 令和4年11月13日

調査概要 : 内真部城館群の踏査を実施している市民グループより、内真部(1)遺跡範囲外で土器を採集したという情報を受け、分布調査を実施した。当該地は、内真部(1)遺跡西側の山林にあたり、数年前に行われたとみられる森林伐採時の運搬路造成によって掘削を受けており、縄文土器、土師器、鉄滓のほか、地山が露出した地点から焼土範囲を確認したため、範囲変更した。

奥内地区においては、奥内川上流に「ブドヤ沢」、瀬戸子地区においては瀬戸子川上流に「ドウヤ沢」という名称の沢が存在し、「ドヤ」および「ドウヤ」の名称については、江戸時代に製鉄や鋳造が行われた場所を指す「銅屋」が由来と考えられ、未確認の製鉄遺跡が存在する可能性が高いことから、周辺の分布調査を実施した。ブドヤ沢は、奥内川支流の母沢を500m進んだ北側の小さな沢に相当する。沢に向かって張り出す丘状の地形の先端部が森林伐採の運搬路造成によって削られており、その断面に大量の木炭や鉄滓が混入する状況を確認したことから、新規登録した。

ドウヤ沢は、瀬戸子川支流の双又沢を50m進んだ東側の小さな沢に相当する。沢からは、製錬炉の炉壁片や鉄滓が確認でき、沢の南側の斜面において大量の鉄滓が広範囲に散布する状況を確認したことから、新規登録した。

[引用文献]

青森市 2005 『新青森市史 資料編2古代・中世』



写真2 飛鳥(5)遺跡①



写真3 飛鳥(5)遺跡②



写真4 飛鳥(5)遺跡③



写真5 尻八館跡①



写真6 尻八館跡②



写真7 仮称 瀬戸子館①



写真8 仮称 瀬戸子館②



写真9 仮称 内真部山城①



写真10 仮称 大阪山館①



写真11 仮称 大阪山館②



写真12 仮称 大阪山館③



写真13 仮称 大阪山館④



写真14 仮称 大阪山館⑤



写真15 仮称 大阪山館⑥



写真16 仮称 内真部山城②



写真17 仮称 内真部山城③



写真18 仮称 内真部山城④



写真19 飛鳥山館跡①



写真 20 飛鳥山館跡②



写真 21 仮称 飛鳥山館方形区画



写真 22 仮称 瀬戸子館①



写真 23 仮称 瀬戸子館②



写真 24 内真部 (1) 遺跡①



写真 25 内真部 (1) 遺跡②



写真 26 ブドヤ沢遺跡①



写真 27 ブドヤ沢遺跡②



写真 28 ドウヤ沢遺跡①



写真 29 ドウヤ沢遺跡②

第2節 試掘・確認調査

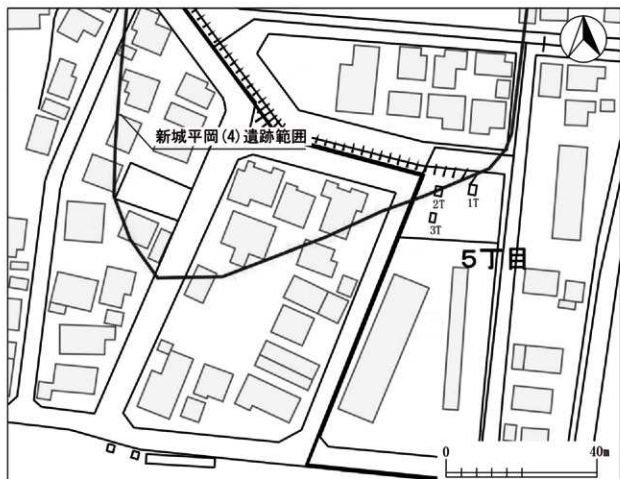
昨年度報告後に実施した2件（新城平岡(4)遺跡、安田近野(2)遺跡）を含め、19件の調査結果である。三内沢部(3)遺跡、沢田遺跡については、複数地点の調査を実施している。調査の概要は、以下のとおりである。

1	遺跡名	新城平岡(4)遺跡	図版番号	第14図
	調査地	大字新城字平岡地内	遺跡台帳番号	201-074
	調査原因	住宅建築	調査面積	11㎡
	調査期間	令和4年2月15日		
	調査方法	トレンチ3箇所設定。重機・人力による掘削。		
	調査概要	区画整理により造成されており、盛土が厚く堆積する状況を確認。盛土の厚さは、2m以上と推定。(盛土下位の土層は未確認)。遺構・遺物は確認できなかった。1T:130(盛土130)cm、2T:120(盛土120)cm、3T:130(盛土130)cm。		
調査後措置	慎重工により施工。			
2	遺跡名	安田近野(2)遺跡	図版番号	第15図
	調査地	大字安田字近野地内	遺跡台帳番号	201-309
	調査原因	住宅建築	調査面積	15㎡
	調査期間	令和4年3月3日		
	調査方法	トレンチ4箇所設定。重機・人力による掘削。		
	調査概要	2Tにおいて部分的な擾乱が認められたが、概ねプライマリーな堆積層が認められ、3T・4Tから縄文時代及び平安時代の遺構・遺物を確認。1T:60cm・遺構遺物無、2T:60cm・遺構遺物無、3T:50cm・竪穴建物跡1・縄文土器、4T:50cm・ビット2・土師器。		
調査後措置	住宅の基礎深度が遺構面まで達しない計画であったが、工事立会により施工。			
3	遺跡名	女鹿沢野尻遺跡	図版番号	第16図
	調査地	浪岡大字女鹿沢字野尻地内	遺跡台帳番号	201-435
	調査原因	住宅建築	調査面積	9㎡
	調査期間	令和4年4月8日		
	調査方法	トレンチ4箇所設定。重機・人力による掘削。		
	調査概要	以前の宅地造成により削平された状況を確認。地表面直下が地山ローム層となっており、遺構・遺物は確認できなかった。1T:10cm、2T:5cm、3T:10cm、4T:5cm。		
調査後措置	慎重工により施工。			
4	遺跡名	栄山(1)遺跡	図版番号	第17図
	調査地	大字細越字栄山地内	遺跡台帳番号	201-211
	調査原因	住宅建築	調査面積	8㎡
	調査期間	令和4年4月28日		
	調査方法	トレンチ2箇所設定。重機・人力による掘削。		
	調査概要	地表面下70～100cmの深さまで盛土が認められたが、その下位からプライマリーな堆積層を確認し、2Tより時期不明の遺構を確認した。1T:160(盛土100)cm・遺構遺物無、2T:90(盛土70)cm・ビット2・遺物無。		
調査後措置	住宅の基礎深度が盛土内に収まる計画であったため、慎重工により施工。			
5	遺跡名	後潟(1)遺跡	図版番号	第18図
	調査地	大字四戸橋字磯部地内	遺跡台帳番号	201-031
	調査原因	農業用倉庫建築	調査面積	29㎡
	調査期間	令和4年5月13日		
	調査方法	対象地内に4箇所のトレンチを設定。重機・人力による掘削。		
	調査概要	地表面下80～160cmの盛土下位から黒色土や砂層を確認したが、遺構・遺物は確認できなかった。1T:140(盛土80)cm、2T:160(盛土100)cm、3T:170(盛土120)cm、4T:220(盛土160)cm。		
調査後措置	盛土内に基礎深度が収まる計画であったため、慎重工により施工。			

6	遺跡名	葛野(1)遺跡	図版番号	第19・20図
	調査地	大字大別内字葛野地内	遺跡台帳番号	201-218
	調査原因	切土造成工事	調査面積	116㎡
	調査期間	令和4年5月18・19日		
	調査方法	対象地内に17箇所のトレンチを設定。重機・人力による掘削。		
	調査概要	概ねプライマリーな堆積層が認められ、遺跡内の5～11Tのほか、遺跡範囲外に設定した1～3、14・15Tからも縄文時代の遺構・遺物を確認。1T:70cm・堅穴建物跡1・縄文土器、2T:180cm・土坑1・縄文土器、3T:150cm・土坑1・縄文土器、4T:90cm・遺構無・縄文土器、5T:70cm・堅穴建物跡1・縄文土器、6T:70cm・堅穴建物跡1・縄文土器・石器、7T:50cm・堅穴建物跡1・縄文土器・石器・土製品、8T:70cm・堅穴建物跡1・土坑1・ピット4、9T:50cm・堅穴建物跡2・縄文土器、10T:60cm・土坑1・縄文土器、11T:70cm・堅穴建物跡1・縄文土器、12T:80cm・遺構遺物無、13T:60cm・遺構遺物無、14T:50cm・土坑1・遺物無、15T:50cm・ピット1・遺物無、16T:60cm・遺構遺物無、17T:70cm・遺構遺物無。		
調査後措置	調査結果を基に遺跡範囲を拡張、掘削等を伴う工事については、事前協議の上、工事範囲内の発掘調査が必要となる旨伝達。			
7	遺跡名	三内沢部(3)遺跡①	図版番号	第21図
	調査地	大字三内字沢部地内	遺跡台帳番号	201-230
	調査原因	住宅建築・駐車場整備	調査面積	67㎡
	調査期間	令和4年5月30日		
	調査方法	対象地内に10箇所のトレンチを設定。重機・人力による掘削。		
	調査概要	概ねプライマリーな堆積層が認められたが、遺構・遺物は確認できなかった。1T:30cm、2T:30cm、3T:20cm、4T:45cm、5T:40cm、6T:40cm、7T:70cm、8T:30cm、9T:50cm、10T:70cm。		
調査後措置	工事立会により施工。			
8	遺跡名	雲谷山吹(1)遺跡	図版番号	第22・23図
	調査地	大字雲谷字山吹地内	遺跡台帳番号	201-199
	調査原因	太陽光発電所建設	調査面積	414㎡
	調査期間	令和4年6月20～22日		
	調査方法	対象地内に25箇所のトレンチを設定。重機・人力による掘削。		
	調査概要	東端部の覆土を除いて、概ねプライマリーな堆積層が認められ、遺跡南西端や、その付近の遺跡範囲外に設定した15、20、21、23、25Tより縄文時代の遺構・遺物を確認。1T:60cm・遺構遺物無、2T:80cm・遺構遺物無、3T:80cm・遺構遺物無、4T:50cm・遺構遺物無、5T:30cm・遺構遺物無、6T:60cm・遺構遺物無、7T:45cm・遺構遺物無、8T:60cm・遺構遺物無、9T:50cm・遺構遺物無、10T:60cm・遺構遺物無、11T:40cm・遺構遺物無、12T:60cm・遺構遺物無、13T:80cm・遺構遺物無、14T:40cm・遺構遺物無、15T:50cm・ピット2・遺物無、16T:45cm・遺構遺物無、17T:45cm・遺構遺物無、18T:50cm・遺構遺物無、19T:45cm・遺構遺物無、20T:30cm・遺構無・縄文土器、21T:60cm・ピット1・遺物無、22T:60cm・遺構遺物無、23T:50cm・土坑1・ピット2・縄文土器、24T:60cm・遺構遺物無、25T:50cm・土坑1・縄文土器		
調査後措置	調査結果を基に遺跡範囲を拡張、掘削を伴う工事については、遺構面に達しない工法の検討又は遺構を確認した範囲の発掘調査が必要となる旨伝達。			
9	遺跡名	沢田遺跡①	図版番号	第24図
	調査地	造道3丁目地内	遺跡台帳番号	201-050
	調査原因	住宅建築	調査面積	11㎡
	調査期間	令和4年7月19日		
	調査方法	対象地内に3箇所のトレンチを設定。重機・人力による掘削。		
	調査概要	地表面下75～90cmの盛土下位から、プライマリーな堆積層を確認。遺構は認められなかったが、盛土下位の黒色土層より土師器を確認。1T:110(盛土75)cm・遺構無・土師器、2T:130(盛土75)cm・遺構無・土師器、3T:140(盛土90)cm・遺構遺物無。		
調査後措置	住宅の基礎深度が盛土内に収まる計画であったため、慎重工事により施工。			

10	遺跡名	近野遺跡	図版番号	第25図
	調査地	大字安田字近野地内	遺跡台帳番号	201-065
	調査原因	住宅建築	調査面積	18㎡
	調査期間	令和4年7月20日		
	調査方法	対象地内に4箇所のトレンチを設定。重機・人力による掘削。		
	調査概要	地表面下35～120cmの盛土下位から、プライマリーな堆積層を確認。2Tより遺構を確認したが、遺物は確認できなかった。1T:150(盛土80)cm・遺構遺物無、2T:180(盛土120)cm・土坑1・遺物無、3T:120(盛土55)cm・遺構遺物無、4T:90(盛土35)cm・遺構遺物無。		
	調査後措置	基礎深度が盛土内に収まる位置に建築する計画のため、慎重工事により施工。		
11	遺跡名	沢田遺跡②	図版番号	第26図
	調査地	造道3丁目地内	遺跡台帳番号	201-050
	調査原因	宅地分譲	調査面積	80㎡
	調査期間	令和4年7月21日		
	調査方法	対象地内に7箇所のトレンチを設定。重機・人力による掘削。		
	調査概要	地表面下150～200cmの盛土下位から、プライマリーな堆積層を確認。1・3Tより遺構を確認したが、遺物は確認できなかった。1T:260(盛土190)cm・溝跡1・遺物無、2T:250(盛土200)cm、3T:230(盛土180)cm・溝跡1・遺物無、4T:295(盛土180)cm・遺構遺物無、5T:240(盛土180)cm・遺構遺物無、6T:200(盛土150)cm・遺構遺物無、7T:180(盛土150)cm・遺構遺物無。		
	調査後措置	掘削深度が盛土内に収まる計画のため、慎重工事により施工。		
12	遺跡名	東造道遺跡	図版番号	第27図
	調査地	東造道2丁目地内	遺跡台帳番号	201-447
	調査原因	住宅建築	調査面積	13㎡
	調査期間	令和4年7月28日		
	調査方法	対象地内に4箇所のトレンチを設定。重機・人力による掘削。		
	調査概要	地表面下75～90cmの盛土下位から、プライマリーな堆積層を確認。2Tより時期不明の遺構を確認したが、遺物は確認できなかった。1T:90(盛土75)cm・遺構遺物無、2T:120(盛土90)cm・土坑1・遺物無、3T:105(盛土85)cm・遺構遺物無、4T:85(盛土75)cm・遺構遺物無。		
	調査後措置	基礎深度が盛土内に収まる計画のため、慎重工事により施工。		
13	遺跡名	月見野(5)遺跡	図版番号	第28図
	調査地	大字駒込字月見野地内	遺跡台帳番号	201-264
	調査原因	倉庫建築	調査面積	13㎡
	調査期間	令和4年10月4日		
	調査方法	対象地内に3箇所のトレンチを設定。重機・人力による掘削。		
	調査概要	概ねプライマリーな堆積層を確認。3Tより遺構を確認したが、遺物は確認できなかった。1T:70cm・遺構遺物無、2T:70cm・遺構遺物無、3T:70cm・土坑1・ビット1・遺物無。		
	調査後措置	盛土整地によって基礎深度が盛土内に収まる計画となったため、慎重工事により施工。		
14	遺跡名	新城平岡(3)遺跡	図版番号	第29図
	調査地	大字新城字平岡地内	遺跡台帳番号	201-241
	調査原因	住宅建築	調査面積	9㎡
	調査期間	令和4年10月24日		
	調査方法	対象地内に3箇所のトレンチを設定。重機・人力による掘削。		
	調査概要	宅地造成によって施された盛土が厚く堆積する状況を確認。盛土の厚さは、3m以上と推定される(盛土下位の土層は未確認)。遺構・遺物は確認できなかった。1T:240(盛土240)cm、2T:160(盛土160)cm、3T:140(盛土140)cm。		
	調査後措置	建築にあたっては、事前に文化財保護法に係る届出を提出するよう伝達。		

15	遺跡名	内真部地区	図版番号	第30図
	調査地	大字内真部字山下地内	遺跡台帳番号	—
	調査原因	電線張替工事	調査面積	135㎡
	調査期間	令和4年10月27・28日		
	調査方法	遺跡範囲外に相当する対象地内に22箇所のトレンチを設定。重機・人力による掘削。		
調査概要	以前の鉄塔工事に伴う攪乱が認められた14～17T周辺を除いて、概ねプライマリーな堆積層を確認したが、遺構・遺物は確認できなかった。1T:60cm、2T:80cm、3T:100cm、4T:90cm、5T:90cm、6T:100cm、7T:70cm、8T:30cm、9T:80cm、10T:60cm、11T:50cm、12T:60cm、13T:60cm、14T:30cm、15T:70cm、16T:70cm、17T:60cm、18T:80cm、19T:70cm、20T:40cm、21T:70cm、22T:110cm。			
調査後措置	施工については、特設支障がない旨伝達。			
16	遺跡名	安田(1)遺跡隣接地	図版番号	第31図
	調査地	大字安田字近野地内	遺跡台帳番号	201-015
	調査原因	宅地分譲	調査面積	60㎡
	調査期間	令和4年12月6日		
	調査方法	遺跡南側の隣接地に相当する対象地内に8箇所のトレンチを設定。重機・人力による掘削。		
調査概要	西～南側の4～6、8Tでは地山ロー層まで削平された状況を確認。他の地点は、表層の耕作土や盛土の下位から概ねプライマリーな堆積層を確認したが、遺構・遺物は確認できなかった。1T:90cm、2T:90cm、3T:100cm、4T:20cm、5T:10cm、6T:20cm、7T:100cm、8T:5cm。			
調査後措置	工事立会により施工予定。			
17	遺跡名	夏井田(9)遺跡	図版番号	第32図
	調査地	大字飛鳥字塩越地内	遺跡台帳番号	201-112
	調査原因	無線基地局建設	調査面積	11㎡
	調査期間	令和4年12月7日		
	調査方法	対象地内に2箇所のトレンチを設定。重機・人力による掘削。		
調査概要	周囲の土地に比べて1m程度低く、削平された状況を確認。地山ロー層には削平や攪乱がみられ、地山直上が耕作土となっている状況を確認。遺構は確認できなかったが、1Tより土師器を確認。1T:40cm・遺構無・土師器、2T:40cm・遺構遺物無。			
調査後措置	工事立会により施工予定。			
18	遺跡名	中道遺跡	図版番号	第33図
	調査地	浪岡大字北中野字北畠地内	遺跡台帳番号	201-428
	調査原因	住宅建築	調査面積	12㎡
	調査期間	令和4年12月14日		
	調査方法	対象地内に3箇所のトレンチを設定。重機・人力による掘削。		
調査概要	地表面下80cmの盛土下位から、プライマリーな堆積層を確認したが、遺構・遺物は確認できなかった。1T:120(盛土80)cm、2T:120(盛土90)cm、3T:115(盛土80)cm。			
調査後措置	工事立会により施工予定。			
19	遺跡名	三内沢部(3)遺跡②	図版番号	第34図
	調査地	大字三内字沢部地内	遺跡台帳番号	201-239
	調査原因	住宅建築	調査面積	129㎡
	調査期間	令和4年12月19日		
	調査方法	対象地内に13箇所のトレンチを設定。重機・人力による掘削。		
調査概要	北側から中央部にかけて削平された状況であったが、概ねプライマリーな堆積層が認められ、東側に設定したトレンチを中心に縄文時代や平安時代とみられる遺構を確認。遺物は確認できなかった。1T:100cm、2T:60cm、3T:60cm、4T:60cm・堅穴建物跡1、土坑1、5T:20cm・堅穴建物跡1、6T:20cm、7T:40cm、8T:30cm・土坑2、9T:10cm・土坑1、10T:25cm、11T:50cm・溝跡1、12T:40cm、13T:40cm・土坑1。			
調査後措置	遺構面に掘削が達しない設計のため工事立会の下で施工予定。			



調査区近景 (N→)



1T (N→)



1T断面 (W→)

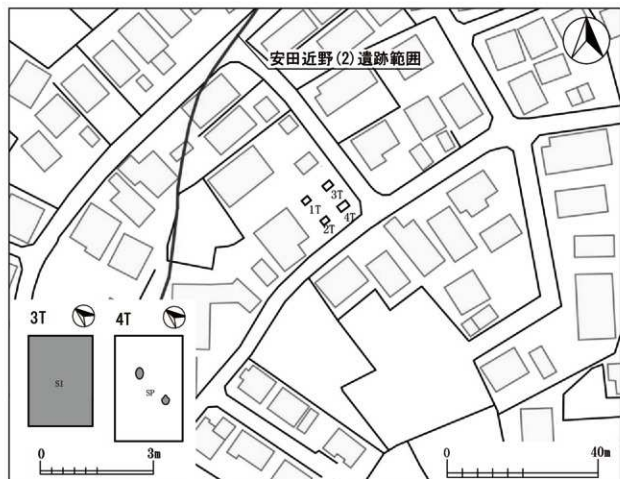


3T (S→)



3T断面 (E→)

第14図・写真30 新城平岡(4)遺跡



3T (E→)



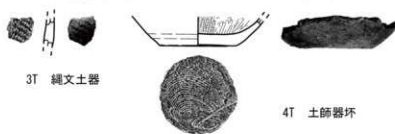
3T 断面 (N→)



4T (E→)



4T 断面 (S→)



第 15 図・写真 31 安田近野(2)遺跡



2T (W→)



2T 断面 (N→)

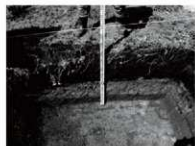
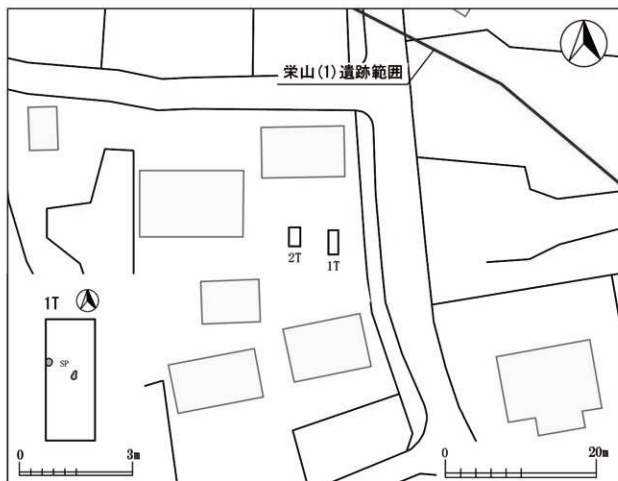


3T (E→)

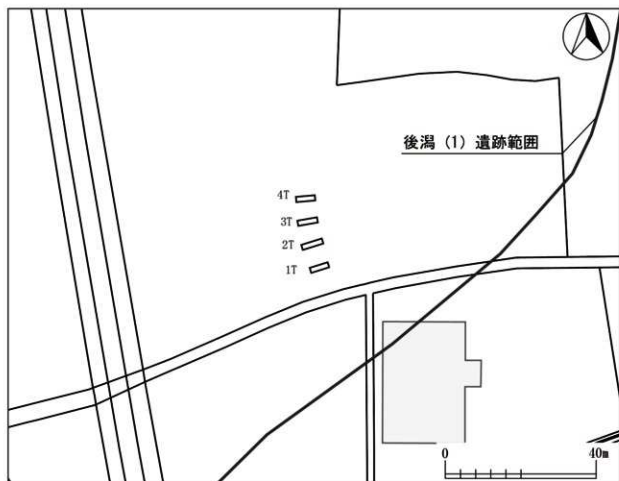


4T (E→)

第16図・写真32 女鹿沢野尻遺跡



第17図・写真33 栄山(1)遺跡



調査風景 (E→)



1T (E→)



1T 断面 (S→)



2T (E→)

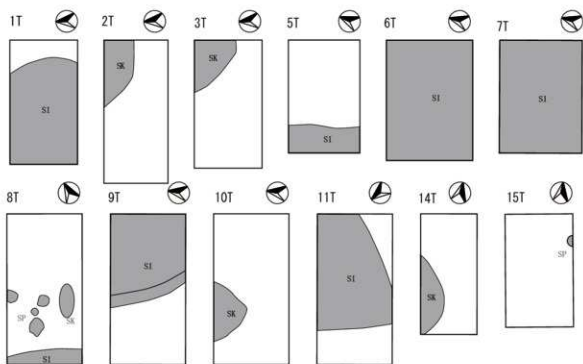
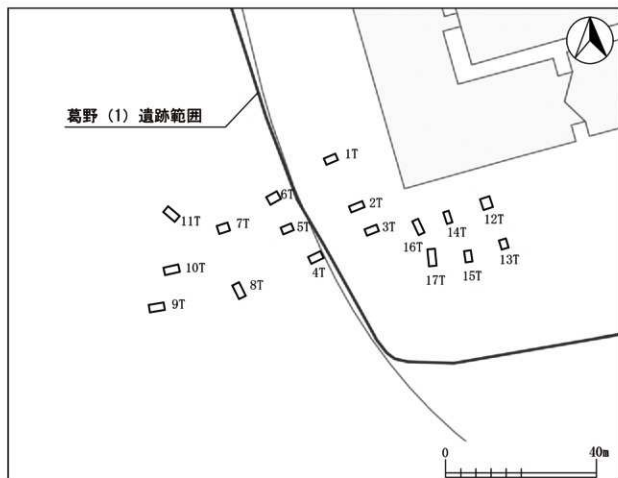


3T (E→)



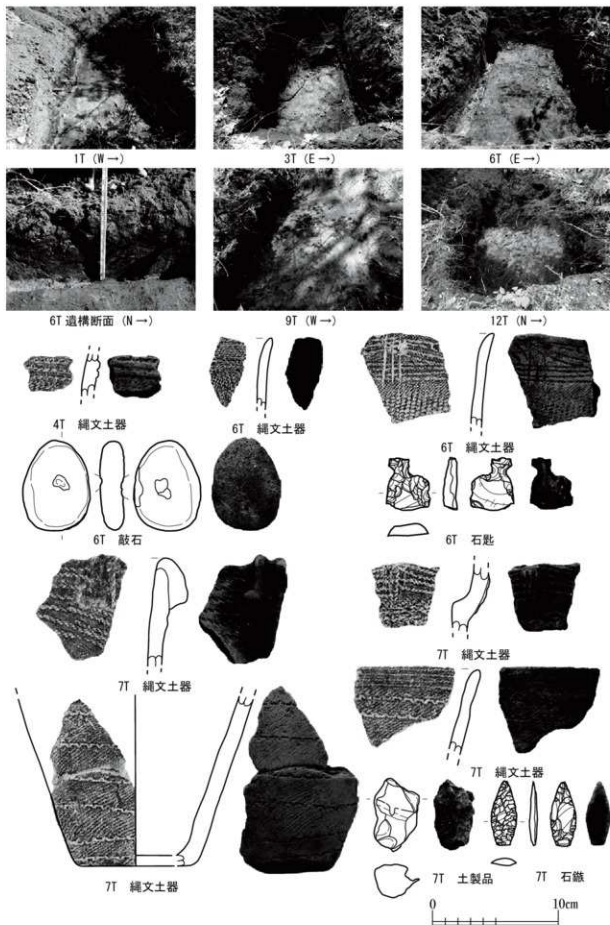
4T (E→)

第18図・写真34 後潟(1)遺跡

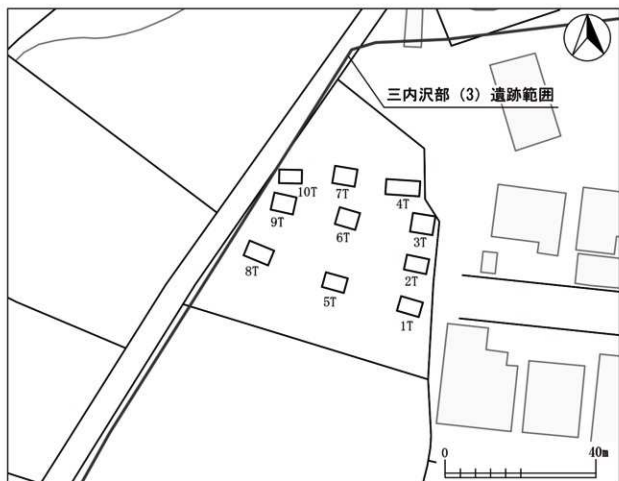


第19図 葛野(1)遺跡

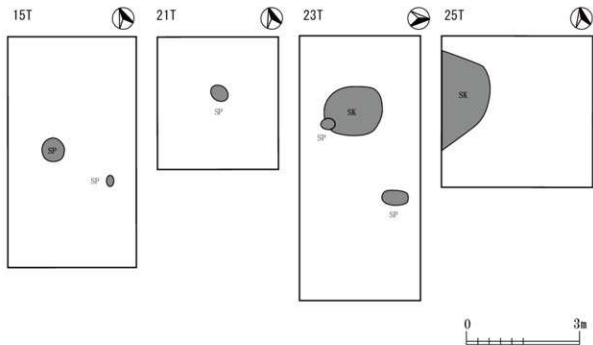




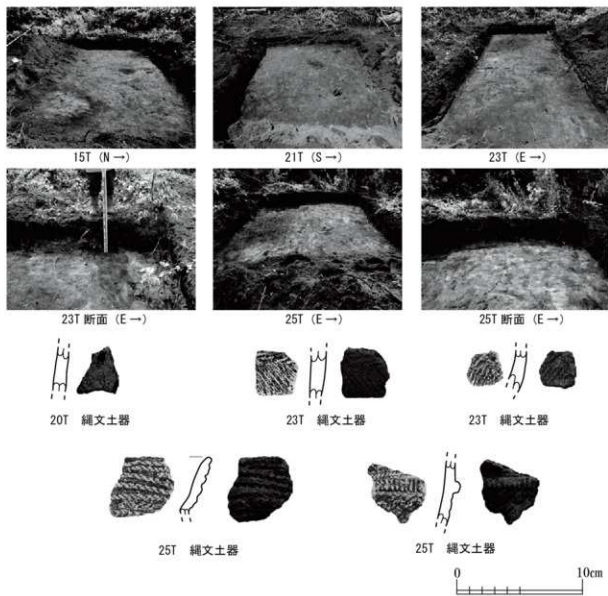
第20図・写真35 葛野(1)遺跡



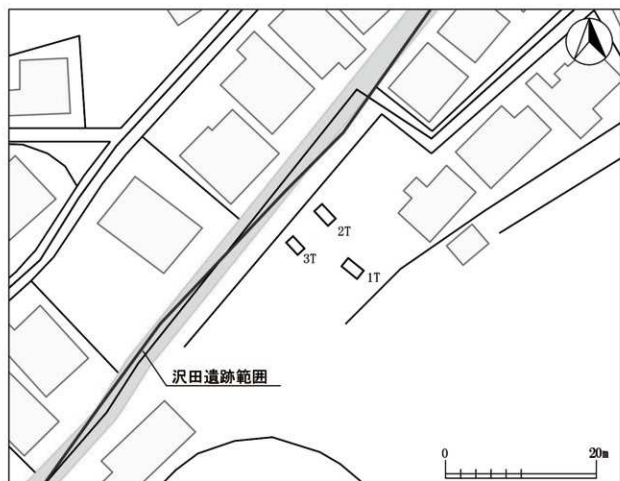
第 21 図・写真 36 三内沢部 (3) 遺跡①



第 22 図 雲谷山吹(1)遺跡



第 23 図・写真 37 雲谷山吹 (1) 遺跡



1T (S →)



1T 断面 (E →)



2T (N →)



3T (N →)



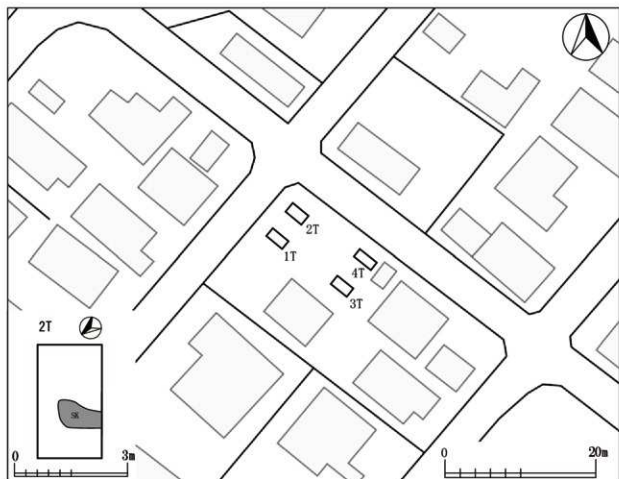
1T 土師器甕



2T 土師器環



第24図・写真38 沢田遺跡①



1T (W→)



2T (W→)



2T 断面 (S→)



3T (E→)

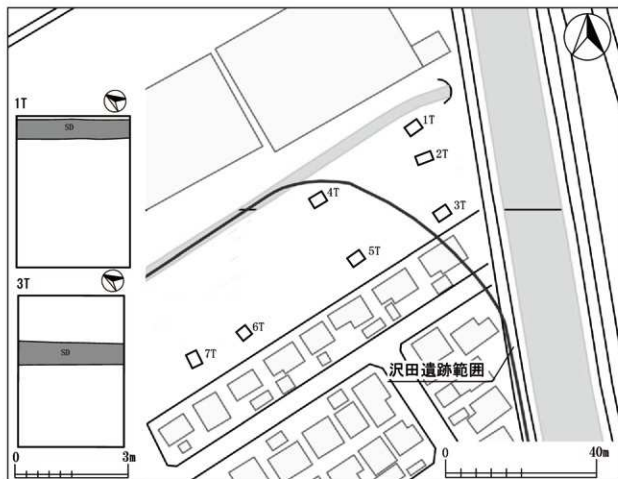


4T (E→)

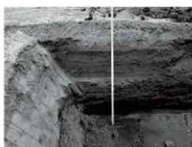


4T 断面 (N→)

第 25 図・写真 39 近野遺跡



1T (E→)



1T 断面 (N→)



3T (E→)



3T 断面 (N→)

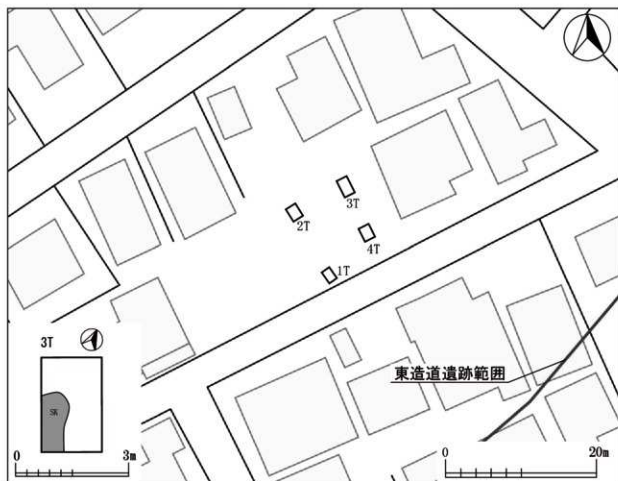


5T (W→)



7T (S→)

第 26 図・写真 40 沢田遺跡②



1T (S →)



1T 断面 (E →)



2T (N →)

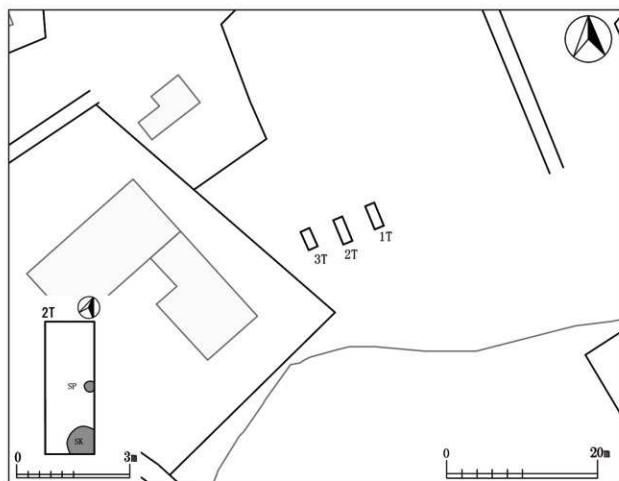


3T (N →)



3T 断面 (E →)

第 27 図・写真 41 東造道遺跡



1T (N→)



2T (N→)



2T 断面 (N→)



3T (N→)



3T 断面 (E→)

第28図・写真42 月見野(5)遺跡



1T (W→)



1T 断面 (N→)



2T (N→)

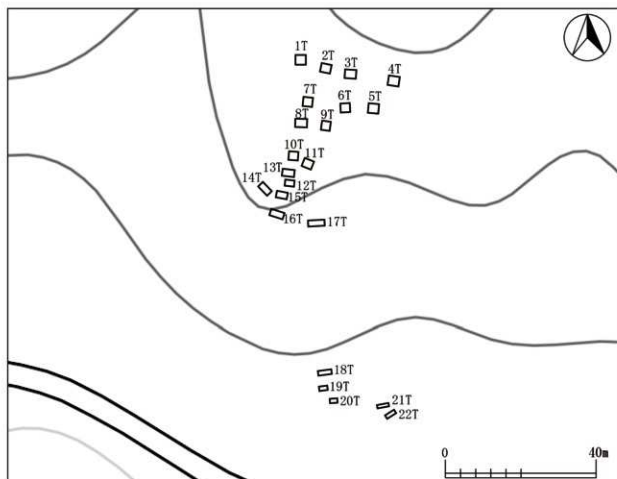


3T (E→)



3T 断面 (E→)

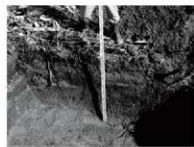
第 29 図・写真 43 新城平岡(3)遺跡



作業風景 (N→)



3T (W→)



3T 断面 (W→)



7T (S→)

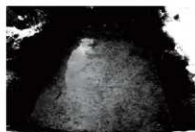


14T 断面 (W→)

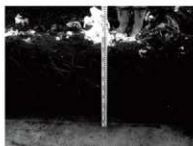


16T (E→)

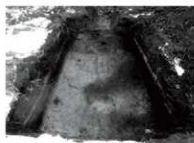
第30図・写真44 内真部地区



1T (N→)



1T 断面 (W→)



3T (N→)



4T (S→)

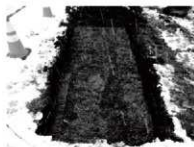
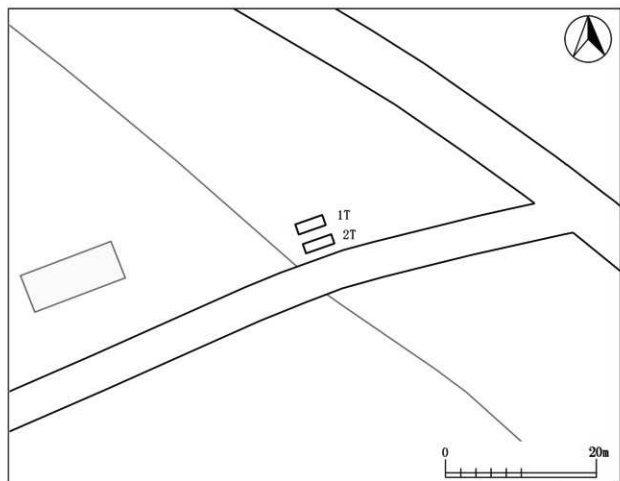


6T (E→)



8T (E→)

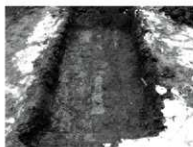
第 31 図・写真 45 安田 (1) 遺跡隣接地



1T (E→)



1T 断面 (S→)



2T (E→)



1T 土師器婭



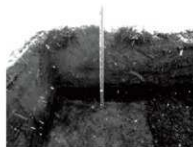
1T 土師器坏



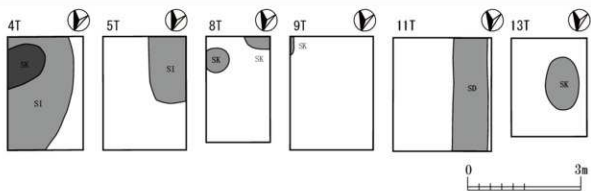
1T 土師器坏



第 32 図・写真 46 夏井田 (9) 遺跡



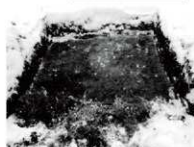
第 33 図・写真 47 中道遺跡



4T (S-)



8T (S-)



11T (N-)

第34図・写真48 三内沢部(3)遺跡②

報告書抄録

ふりがな	しないなせきはっくつちようさほうこくしょ							
書名	市内道路発掘調査報告書 31							
副書名								
シリーズ名	青森市埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第 131 集							
編著者名	設楽 政健							
編集機関	青森市教育委員会							
所在地	〒 030-0801 青森県青森市新町一丁目 3 番 7 号 青森市役所駅前庁舎 TEL 017-718-1392							
発行年月日	西暦 2023 年 3 月 24 日							
ふりがな 所記道路名	ふりがな 所在地	コード		世界測地系 (JGD2000)		調査時期	調査面積 (㎡)	調査原因
		市町村	道路番号	北緯	東経			
新城平岡 (4) 道路	青森市大字新城字平岡	02201	74	40° 49' 48"	140° 41' 20"	20220215	11	住宅建築
安田庄野 (2) 道路	青森市大字安田字近野	02201	309	40° 48' 21"	140° 42' 45"	20220303	15	住宅建築
女鹿沢野尻宮跡	青森市浪岡大字女鹿沢字野尻	02201	435	40° 42' 45"	140° 34' 39"	20220408	9	住宅建築
栄山 (1) 道路	青森市大字鶴崎字栄山	02201	211	40° 47' 23"	140° 42' 43"	20220428	8	住宅建築
後園 (1) 道路	青森市大字新町一丁目橋字後園	02201	031	40° 56' 35"	140° 38' 01"	20220513	29	農業用倉庫建築
越野 (1) 道路	青森市大字別内町越野	02201	218	40° 45' 26"	140° 43' 58"	20220518 -19	116	切土造成 工事
三内沢部 (3) 道路①	青森市大字三内字沢部	02201	239	40° 49' 04"	140° 41' 32"	20220530	67	住宅建築・ 駐車場整備
雲谷山吹 (1) 道路	青森市大字雲谷字山吹	02201	199	40° 44' 37"	140° 47' 04"	20220620 -22	414	太陽光発電 所建設
伊豆田道路①	青森市道 3 丁目	02201	050	40° 49' 48"	140° 47' 17"	20220719	11	住宅建築
近野道路	青森市大字安田字近野	02202	065	40° 48' 33"	140° 42' 16"	20220720	18	住宅建築
伊豆田道路②	青森市道 3 丁目	02201	050	40° 49' 52"	140° 47' 23"	20220721	80	宅地分譲
東込田道路	青森市東込道 2 丁目	02201	447	40° 49' 48"	140° 47' 50"	20220728	13	住宅建築
月見野 (5) 道路	青森市大字駒込字月見野	02201	264	40° 47' 20"	140° 48' 27"	20221004	13	倉庫建築
新城平岡 (3) 道路	青森市大字新城字平岡	02201	241	40° 49' 17"	140° 40' 46"	20221024	9	住宅建築
内丸部地区	青森市大字内丸部字山下	-	-	40° 54' 32"	140° 37' 49"	20221027 -28	135	電線引替 工事
安田 (1) 道路隣接地	青森市大字安田字近野	02201	015	40° 47' 58"	140° 42' 38"	20221206	60	宅地分譲
夏井田 (9) 道路	青森市大字鶴崎字福通	02201	112	40° 52' 12"	140° 52' 12"	20221207	11	無線基地局 建設
中野道	青森市浪岡大字北中野字北沼	02201	428	40° 42' 31"	140° 35' 59"	20221214	12	住宅建築
三内沢部 (3) 道路②	青森市大字三内字沢部	02201	239	40° 48' 55"	140° 41' 27"	20221219	129	住宅建築
要 約	市内道路発掘調査事業について、令和 3 年度に実施した確認調査 2 件、令和 4 年度に実施した試掘・確認調査 17 件の調査成果および新規登録・範囲変更道路概要や各事業関係の概要等を所収。							

既刊埋蔵文化財関係報告書一覧

青森市の文化財	1962	『三内遺跡発掘調査概報』	青森市埋蔵文化財調査報告書	第66集	2003	『稲山遺跡発掘調査報告書Ⅲ』
"	2	1965 『四ノ石遺跡調査概報』	"	第67集	2003	『深沢(3)遺跡発掘調査報告書』
"	3	1967 『玉清水遺跡調査概報』	"	第68集	2003	『近野遺跡発掘調査報告書Ⅱ』
"	4	1970 『三内丸山遺跡調査概報』	"	第69集	2003	『市内遺跡発掘調査報告書Ⅺ』
"	5	1971 『野木遺跡調査報告書』	"	第70集	2003	『小牧野遺跡発掘調査報告書Ⅱ』
"	6	1971 『玉清水三田遺跡発掘調査報告書』	"	第71集	2004	『稲山遺跡発掘調査報告書Ⅳ』
"	7	1971 『大浦遺跡調査報告書』	"	第72集	2004	『市内遺跡発掘調査報告書Ⅴ』
"	8	1973 『孫内遺跡発掘調査報告書』	"	第73集	2004	『新町野遺跡発掘調査報告書Ⅱ』
"		1979 『宮沢遺跡』	"	第74集	2004	『市内遺跡発掘調査報告書Ⅻ』
"		1983 『戸内橋遺跡調査報告書』	"	第75集	2004	『石江遺跡発掘調査報告書』
青森市の埋蔵文化財	1983	『山野野遺跡』	"	第76集	2005	『栄山(3)遺跡発掘調査報告書』
"		1985 『北倉遺跡発掘調査報告書』	"	第77集	2005	『赤坂遺跡発掘調査報告書』
"		1986 『田茂木野遺跡発掘調査報告書』	"	第78集	2005	『三内丸山(8)遺跡発掘調査報告書』
"		1987 『横内城跡発掘調査報告書』	"	第79集	2005	『市内遺跡発掘調査報告書Ⅼ』
"		1988 『三内丸山Ⅰ遺跡発掘調査報告書』	"	第80集	2005	『合子沢松森(2)遺跡発掘調査概報』
青森市埋蔵文化財調査報告書			"	第81集	2005	『石江遺跡群発掘調査概報Ⅱ』
"	第16集	1991 『山吹(1)遺跡発掘調査報告書』	"	第82集	2006	『三内沢部(3)遺跡発掘調査報告書』
"	第17集	1992 『埋蔵文化財出土遺物調査報告書』	"	第83集	2006	『合子沢松森(2)遺跡発掘調査概報Ⅱ』
"	第18集	1993 『三内丸山(2)遺跡発掘調査概報』	"	第84集	2006	『新町野遺跡群発掘調査概報Ⅱ』
"	第19集	1993 『市内遺跡発掘調査報告書』	"	第85集	2006	『小牧野遺跡群発掘調査報告書Ⅸ』
"	第20集	1993 『小牧野遺跡発掘調査概報』	"	第86集	2006	『市内遺跡群発掘調査報告書Ⅽ』
"	第21集	1994 『市内遺跡詳細分布調査報告書』	"	第87集	2006	『新町野遺跡群発掘調査報告書Ⅲ』
"	第22集	1994 『三内遺跡発掘調査報告書』	"	第88集	2006	『史跡高屋敷館遺跡跡地整備準備報告書Ⅱ』
"	第23集	1994 『三内丸山(2)、三内遺跡発掘調査報告書』	"	第89集	2006	『藤原遺跡発掘調査報告書』
"	第24集	1995 『横内遺跡・横内(2)遺跡発掘調査報告書』	"	第90集	2007	『月形野(1)遺跡発掘調査報告書』
"	第25集	1995 『市内遺跡詳細分布調査報告書』	"	第91集	2007	『市内遺跡群発掘調査報告書Ⅾ』
"	第26集	1995 『坂基(2)遺跡発掘調査報告書』	"	第92集	2007	『市内遺跡群発掘調査報告書ⅰ』
"	第27集	1996 『坂基(1)遺跡発掘調査概報』	"	第93集	2007	『合子沢松森(2)遺跡発掘調査報告書』
"	第28集	1996 『三内丸山(2)遺跡発掘調査報告書』	"	第94集	2007	『石江遺跡群発掘調査報告書Ⅱ』
"	第29集	1996 『市内遺跡詳細分布調査報告書』	"	第95集	2008	『野尻(4)遺跡発掘調査報告書』
"	第30集	1996 『小牧野遺跡群発掘調査報告書』	"	第96集	2008	『近野遺跡群発掘調査報告書Ⅳ』
"	第31集	1997 『市内遺跡詳細分布調査報告書』	"	第97集	2008	『市内遺跡群発掘調査報告書ⅰ』
"	第32集	1997 『坂基(1)遺跡発掘調査概報Ⅱ』	"	第98集	2008	『新町野遺跡群発掘調査報告書Ⅱ』
"	第33集	1997 『新町野遺跡群発掘調査報告書』	"	第99集	2009	『市内遺跡群発掘調査報告書ⅱ』
"	第34集	1997 『葛野(2)遺跡発掘調査報告書』	"	第100集	2009	『阿高野(1)遺跡群発掘調査報告書』
"	第35集	1997 『小牧野遺跡群発掘調査報告書Ⅱ』	"	第101集	2009	『大矢沢野田遺跡群発掘調査報告書Ⅱ』
"	第36集	1998 『坂基(1)遺跡発掘調査報告書』	"	第102集	2009	『細越野遺跡群発掘調査報告書』
"	第37集	1998 『新町野遺跡群発掘調査報告書』	"	第103集	2010	『市内遺跡群発掘調査報告書ⅱ』
"	第38集	1998 『野木遺跡群発掘調査報告書』	"	第104集	2010	『長沼池遺跡群発掘調査報告書』
"	第39集	1998 『市内遺跡詳細分布調査報告書』	"	第105集	2010	『葛野(3)遺跡群発掘調査報告書』
"	第40集	1998 『小牧野遺跡群発掘調査報告書Ⅲ』	"	第106集	2010	『石江遺跡群発掘調査報告書ⅱ』
"	第41集	1998 『野木遺跡群発掘調査概報』	"	第107集	2011	『石江遺跡群発掘調査報告書ⅲ』
"	第42集	1998 『熊沢遺跡群発掘調査概報』	"	第108集	2011	『石江遺跡群発掘調査報告書ⅳ』
"	第43集	1999 『市内遺跡詳細分布調査報告書』	"	第109集	2011	『市内遺跡群発掘調査報告書ⅳ』
"	第44集	1999 『葛野(2)遺跡群発掘調査報告書Ⅱ』	"	第110集	2012	『市内遺跡群発掘調査報告書ⅲ』
"	第45集	1999 『小牧野遺跡群発掘調査報告書ⅳ』	"	第111集	2012	『野尻池遺跡群発掘調査報告書ⅲ』
"	第46集	1999 『新町野・野木遺跡群発掘調査概報』	"	第112集	2012	『石江遺跡群発掘調査報告書ⅴ』
"	第47集	1999 『稲山遺跡群発掘調査概報』	"	第113集	2013	『石江遺跡群発掘調査報告書ⅴ』
"	第48集	2000 『熊沢遺跡群発掘調査報告書』	"	第114集	2013	『市内遺跡群発掘調査報告書ⅲ』
"	第49集	2000 『稲山遺跡群発掘調査概報Ⅱ』	"	第115集	2013	『大矢沢野田遺跡群発掘調査報告書Ⅲ』
"	第50集	2000 『小牧野遺跡群発掘調査報告書ⅴ』	"	第116集	2014	『石江遺跡群発掘調査報告書ⅲ』
"	第51集	2000 『坂基(1)・雲谷山吹(3)遺跡群発掘調査報告書』	"	第117集	2014	『市内遺跡群発掘調査報告書ⅲ』
"	第52集	2000 『大矢沢野田(1)遺跡調査報告書』	"	第118集	2015	『市内遺跡群発掘調査報告書ⅲ』
"	第53集	2000 『稲山遺跡群発掘調査報告書ⅲ』	"	第119集	2016	『市内遺跡群発掘調査報告書ⅲ』
"	第54集	2001 『新町野遺跡群発掘調査報告書ⅲ・野木遺跡群発掘調査報告書ⅲ』	"	第120集	2017	『川原館遺跡・中道遺跡、東早稲田遺跡群発掘調査報告書』
"	第55集	2001 『小牧野遺跡群発掘調査報告書ⅴ』	"	第121集	2017	『市内遺跡群発掘調査報告書ⅲ』
"	第56集	2001 『稲山遺跡群発掘調査報告書ⅲ』	"	第122集	2018	『市内遺跡群発掘調査報告書ⅲ』
"	第57集	2001 『稲山遺跡群発掘調査概報Ⅲ』	"	第123集	2018	『野尻(4)遺跡群発掘調査報告書ⅲ』
"	第58集	2001 『大矢沢野田(1)遺跡群発掘調査概報Ⅱ』	"	第124集	2019	『因史跡高屋敷館遺跡跡地整備準備報告書ⅲ』
"	第59集	2001 『市内遺跡群発掘調査報告書ⅲ』	"	第125集	2019	『市内遺跡群発掘調査報告書ⅲ』
"	第60集	2002 『小牧野遺跡群発掘調査報告書ⅴ』	"	第126集	2020	『市内遺跡群発掘調査報告書ⅲ』
"	第61集	2002 『大矢沢野田(1)遺跡群発掘調査報告書』	"	第127集	2021	『新城山田(4)・(5)遺跡群発掘調査報告書』
"	第62集	2002 『稲山遺跡群発掘調査報告書ⅲ』	"	第128集	2021	『市内遺跡群発掘調査報告書ⅲ』
"	第63集	2002 『稲山遺跡群発掘調査概報Ⅳ』	"	第129集	2021	『因史跡高屋敷館遺跡跡地整備準備報告書ⅲ』
"	第64集	2002 『市内遺跡群発掘調査報告書ⅲ』	"	第130集	2022	『市内遺跡群発掘調査報告書ⅲ』
"	第65集	2003 『雲谷山吹(4)～(7)遺跡群発掘調査報告書』	"	第131集	2023	『市内遺跡群発掘調査報告書ⅲ』

青森市埋蔵文化財調査報告書第131集

市内遺跡発掘調査報告書 31

発行年月日 2023年（令和5年）3月24日

編 集 青森市教育委員会
〒030-0801 青森県青森市新町一丁目3番7号
青森市役所駅前庁舎
TEL 017-718-1392

印 刷 社会福祉法人 青森県コロニ一協会
〒030-0943 青森県青森市幸畑字松元62-3
TEL 017-738-2021